



問い合わせ先

第二管区海上保安本部

海洋情報部 監理課長 長尾道広

電話 022-363-0111 (内線2510)

平成23年10月26日

第二管区海上保安本部

釜石港の海図を改版します

海上保安庁では、航海の安全のため海図を刊行しています。

このたび、釜石港の海図を改版します。震災後に、復旧・復興のための輸送路を確保するため、航路及び主要な岸壁付近を優先して水深測量を実施し、その結果を改版する海図に反映させています。

他の被災港湾の海図についても同様に順次改版していきます。

航路等以外の海域についても今後測量を実施し、海図を更新していきます。

1. 東日本大震災により、被災港湾では岸壁の崩壊、水中障害物の存在、水深の大きな変化など、海図の記載内容と現状に相違が生じています。海上保安庁では、復旧・復興のための輸送路を確保するため、本年4月から6月にかけて釜石港の航路や主要な岸壁付近において、測量船「昭洋」「明洋」「天洋」により精密な水深測量を行い、その調査結果を海図に反映させました。
被災港湾の海図を発行する際には、地震前の測量成果と見分けられるようにするため、新たに海図に精度索引図を掲載しています。
今後も、未測量の区域に優先順位をつけて測量を実施し、順次海図に反映していきます。
2. 今回の水深測量では、航路及び主要な岸壁付近を優先して実施しました。震災前と変化があったのは主に以下の点です。
 - (1) 港内の水深20mより浅い部分では、水深が全体的に0.3~1m程度深くなっていることが分かりました。また、沖側の水深20mより深い部分では、震災前の水深と比較して、ほぼ変化はありませんでした。
 - (2) 湾口防波堤の入り口の潜堤があった箇所について、震災前は約19mであった水深が、潜堤の損壊等により約35mになっていることが確認されました。
 - (3) 一部では、水深の減少や海底に異状物が確認されました。これらについては、航行の安全のため、既に二管区水路通報で周知を行っています。

3. 海図の概要

海図番号	図名	縮尺	図積	価格(税込み)	発行日
W1191	釜石港	1/10,000	1/2*1	2,625円	平成23年 10月28日

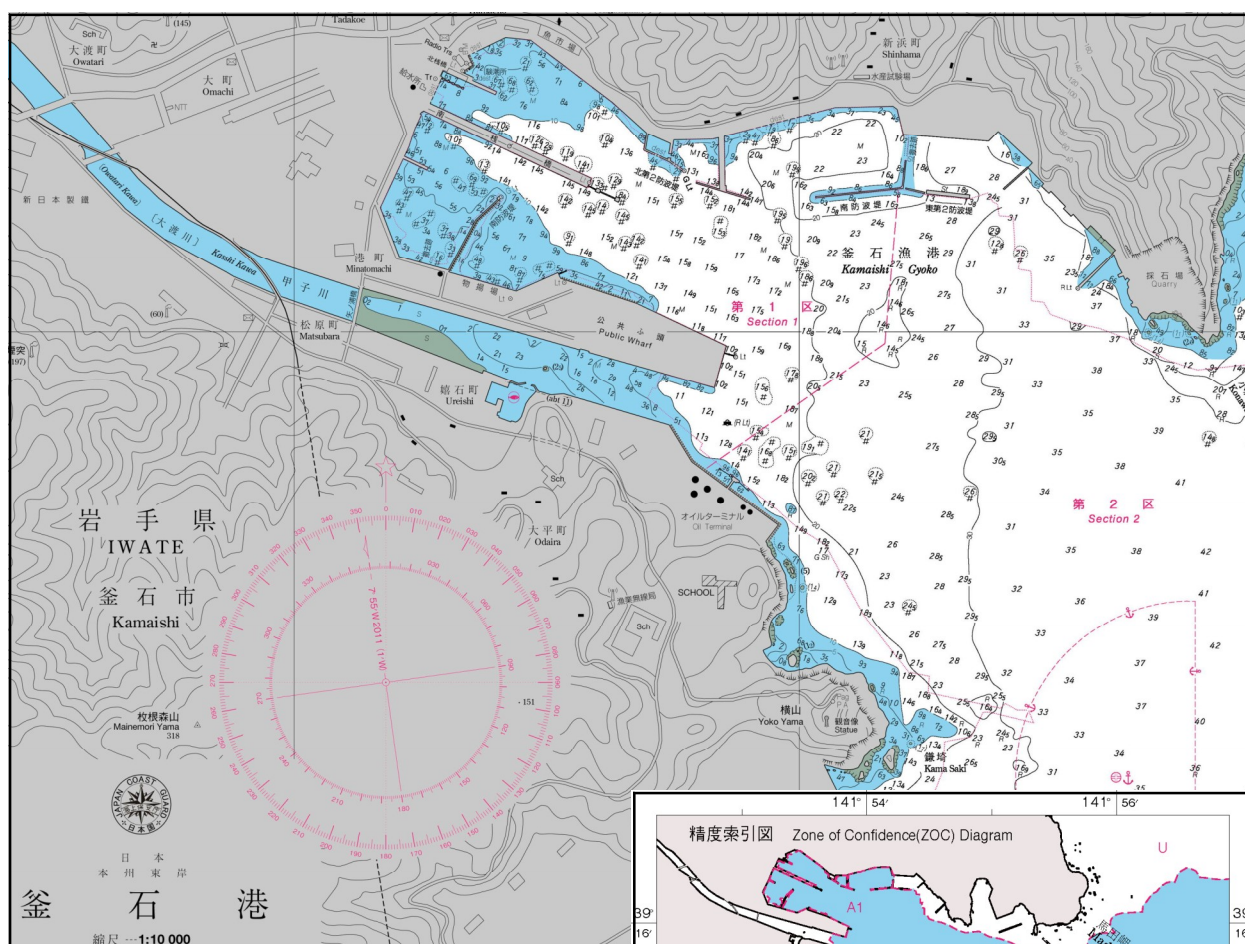
*1 図積 1/2とは、用紙の寸法が約77cm×54cmの大きさのものです。

4. 海図は最寄りの水路図誌販売所及び取次店で購入できます。この販売所等については、以下のホームページ「海図の購入方法（水路図誌販売所）」や当庁刊行の水路図誌目録をご覧ください。

ホームページ <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOKAI/ZUSHI3/default.htm>

海の相談室 電話022-363-0111（内線2511）

釜石港の海図（一部）



精度索引図

精度索引図では、地震発生後に実施した測量区域を水色で表示し、水深測量の精度情報を付記しています。また、海図本図にも同区域の境界を赤色点線で明示しています。

